

た か だ こ ら む

プラントメンテナンスショー出展 —電流ですべてわかる 最適化ソリューション—

近年、日本政府がDXの推進を重要施策と位置づけ、法制度の整備、デジタル人材の育成支援、資金・税制面での支援などを行っている。更に、大手企業や産業界もDXを重要な競争力の源と認識し、積極的に投資や取り組みを進めている。

そのような中、プラントエンジニアリングにおいても、生産性の向上、運用効率の改善、コスト削減、品質管理の向上などの効果を期待したDXの導入が加速している。

当社においても、人手不足によるDX化を強く検討・推進している製造業(特に化学産業やカーボン関連等)のメンテナンス市場に向けた当社診断ソリューション事業の拡大・深耕は不可欠であると考えている。

今般、これら製造業の企業を対象としたプラントメンテナンスショーに出展することで、当社の「電流情報量診断技術」を主体とした省エネ・メンテナンスの効率化に対するソリューションを広くPRし、市場および顧客層の拡大を目指した。

1. 展示会概要

プラントメンテナンスショーは工場設備の維持管理・保全技術を対象にした国内唯一の展示会で、第50回目の開催となった今回は同時開催展を含め、2024年7月24日(水)～26日(金)の3日間で延べ50,000人近くの来場者が訪れた。

2. 出展概要

『電流ですべてわかる 最適化ソリューション ～設備の省エネ対策・劣化予防・生産ロス低減～』をコンセプトに、電流情報量診断システム(T-MCMA®)を中心として当社の設備診断技術を紹介した。

- ・デモ機を用いたデモンストレーション実施
- ・時代のニーズに合った診断ソリューションの提示
- ・出展社セミナー開催による、電流情報量診断技術の認知度向上

3. デモ機を用いたデモンストレーション

T-MCMA®およびTM-CLOUD®(T-MCMA®で収集したデータをクラウドサーバ経由で利用するサービス)の活用イメージを更に広げていただくため、デモ機を利用して2パターン of 異常現象を再現したデモンストレーションを実施した。

(1) キャビテーション

TM-CLOUD®の実際の利用イメージを掴みやすくするために、キャビテーションが発生するデモユニットをブース内に設置した。

キャビテーションとは、液体の流れの中で圧力差により短時間に泡の発生と消滅が起きる物理現象である。振動診断では検出しづらいが、TM-CLOUD®では電流波形の乱れ度合いを示す [KI (ケー・アイ)] というパラメータを用いることで、キャビテーションを検出することができる。

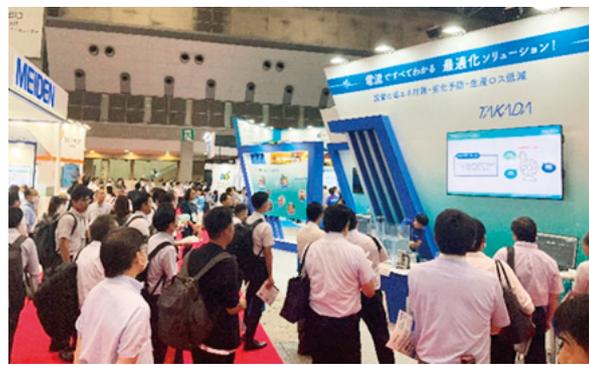


(2) ベルト駆動ファンユニットの異常

「ベルト駆動ファンの異常検知デモユニット」を設置し、ベルトの「ばたつき」などの異常を検知するTM-CLOUD®の機能を紹介した。



当社ブースへの来場者は例年に比べて増加しており、設備診断や当社技術への期待の高まりを感じた。今後もお客様に寄り添ったソリューションを展開するとともに、お客様のニーズを捉えた商品開発に取り組んでいきたい。



日笠 利信 (診断ソリューション部)